

平成29年度 富士市の当初予算

～「生涯青春都市 富士市」の実現に向けて～

富士市ブランドメッセージ「いただきへの、はじまり 富士市」を市内外に向けて発信し、将来を見据えた効果的な諸施策を積極果敢に実施するため、子育て支援事業や工業振興事業など都市活力再生に向けた取り組みに重点を置いた予算を編成しました。

予算額 807 億円

県支出金

県からの補助金など
57億1,434万円

譲与税・交付金・交付税

国から地方に譲与される
お金など
65億4,100万円

国庫支出金

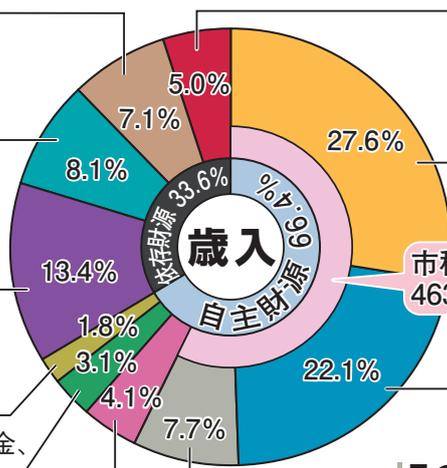
国からの補助金など
108億 744万円

繰越金 ほか

前年度からの繰越金や繰入金、
寄附金、財産収入など
14億3,779万円

諸収入

貸付金元利収入など
24億6,209万円



市債

国や金融機関からの借入金
40億4,720万円

固定資産税

222億8,460万円

市税

57.4%
463億5,250万円

市民税

178億 950万円

その他の市税

都市計画税、市たばこ税、
軽自動車税
62億5,840万円

分担金及び負担金、 使用料及び手数料

市営住宅使用料、施設
入所者の負担金など
33億3,764万円

自主財源…市が独自に収入することができるお金
依存財源…国や県などから入ってくるお金及び借入金

一般会計

福祉や道路整備、教育など、行政の基
本的な事業を行うために設けられた会計

商工費

産業振興などのために
17億1,494万円

消防費

消防・防災対策などに
32億8,177万円

公債費

市債の償還金
63億6,129万円

教育費

学校整備や
社会教育などに
76億3,570万円

総務費

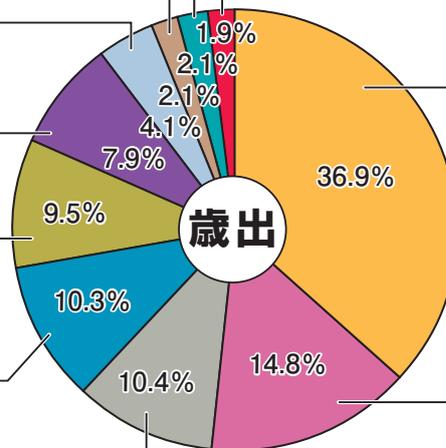
まちづくり活動や
戸籍の管理などに
83億1,587万円

労働費

働く人のために
16億7,723万円

その他

15億6,569万円



民生費

社会福祉などに
297億9,657万円

土木費

道路や河川などの
整備に
119億4,949万円

衛生費

保健医療や環境対策
などに
84億 145万円

本年度の新規事業

★…都市活力再生事業

- ★青春市民推進事業 426万円
- ★ユニバーサル就労推進事業 4,177万円
- ★結婚支援事業 1,311万円
- ★待機児童解消加速化事業 3,628万円
- ★CNF常設展示コーナー設置 200万円
- ★水陸両用バス体験事業 232万円
- ★新富士駅北口駅前広場整備 1億 2,150万円

歳出を市民1人当たりにもとに換算してみると…

民生費

11万6,585円



土木費

4万6,755円



衛生費

3万2,872円



※平成29年3月1日時点の人口(25万5,579人)をもとに計算しています。

前年度予算との比較

| 区分 | 平成29年度当初予算 | 平成28年度当初予算 | 増減額 (前年度予算との比較) | 増減率 |
|------|--------------|----------------|-----------------|-------|
| 一般会計 | 807億 円 | 830億 円 | -23億 円 | -2.8% |
| 特別会計 | 558億 2,200万円 | 556億 3,010万円 | + 1億 9,190万円 | +0.3% |
| 企業会計 | 319億 8,199万円 | 318億 6,408万円 | + 1億 1,791万円 | +0.4% |
| 計 | 1,685億 399万円 | 1,704億 9,418万円 | -19億 9,019万円 | -1.2% |

予算額

319億 8,199万円

病院事業 154億 899万円

中央病院は、安全でよりよい医療を提供し、市民の皆さんの命と健康を守ります。



公共下水道事業 109億 4,800万円

下水道施設の整備や更新を進め、生活環境の向上に努めます。



水道事業 56億 2,500万円

安全でおいしい水道水を安定的に供給するため、施設の整備や更新を進めます。



企業会計

独立採算を原則とする事業を行うために設けられた会計

予算額

558億 2,200万円

富士市には17の特別会計があります。ただし、表中では内山特別会計ほか10会計(旧今泉・一色・神戸・今宮、須津山、鈴川財産区など)を省略しています。

| 特別会計名 | 予算額 |
|--------------------|--------------|
| 国民健康保険事業 | 305億 1,000万円 |
| 後期高齢者医療事業 | 47億 2,100万円 |
| 介護保険事業 | 184億 円 |
| 新富士駅南地区土地区画整理事業 | 9億 2,400万円 |
| 第二東名IC周辺地区土地区画整理事業 | 9億 8,500万円 |
| 駐車場事業 | 6,600万円 |

特別会計

市が特定の事業を行う場合や、特定の収入をもって特定の事業の費用に充てるために設けられた会計

一般会計は減額

今年度の予算規模は、前年度に比べ一般会計が23億円の減額になる一方、特別会計が1億9190万円、企業会計が1億1791万円それぞれ増額になり、全会計で19億9019万円の減額となる1685億399万円です。

■一般会計

市有土地売却に伴う公共建築物保全基金への積立金の減や、吉原第二・吉原東中学校屋内運動場の改築完了など、投資的経費が減少したことによるもの。

■特別会計

後期高齢者医療・介護保険の給付費の増などによるもの。

■企業会計

公共下水道事業の西部浄化センター水処理設備更新などの事業費の増などによるもの。

自主財源比率は66・4%

一般会計予算の歳入のうち、自主財源が占める割合は66・4%です。自主財源には、市税や公共施設の使用料、住民票の発行人手数料などが当たります。このうち、市民や企業の皆さんから納めていただく市税は、8割以上を占めています。

前年度に比べ、自主財源比率は0・6ポイント上昇しました。これは依存財源である市債が減となる一方、固定資産税などの市税が大幅に増加したためであり、引き続き高い比率を維持しています。

「ただいまへの、はじまり」富士市から全国・世界へ「拓く」

富士市ブランドメッセージを積極的に活用したシティプロモーション、全国初の取り組みとなるユニバーサル就労推進事業のほか、待機児童の解消に向けた事業や結婚から子育てにおける切れ目のない支援など新たな取り組みを実施します。

★詳しい内容は、市ウェブサイト「くらしと市政」市政情報→財政→予算→平成29年度予算を、ごらんください。